

(株) 地域計画連合の

公園・広場づくりの実績

平成 21 年 4 月

公園・広場づくりの実績リスト

番号	名称	面積 (㎡)	委託先	年度	ワーク アップ・ 基本計画	基本設計	実施設計	備考
1	門と蔵のある広場	1,257	東京都豊島区	H19年度	○	○	○	
2	波崎灯台跡公園 (みはらしワンパーク)	3,830	茨城県神栖市	H18年度	○	○	○	建築設計含む。建築工 事監理 (H19)
3	原駅前広場	2,500	静岡県沼津市	H18年度	○			
4	六軒町中道ふれあい公園	390	静岡県沼津市	H17年度	○	○		密集事業整備計画推進
5	駅前公園	500	静岡県沼津市	H15年度	○	○	○	密集事業整備計画推進
6	根岸地区防災広場根岸の里 (+通り抜け道路)	2,300	東京都台東区	H16年度	○			密集事業整備計画推進
7	谷中地区防災広場初音の森	7,150	東京都台東区	H17年度	○			密集事業整備計画推進
8	西小山公園	430	東京都目黒区	H16年度	○			密集事業整備計画推進
9	波崎ポケットパークシリーズ							
	東西公園	105	茨城県日立波崎町	H15年度	○			密集事業整備計画推進
	庚申坂広場	120	茨城県日立波崎町	H15年度	○			密集事業整備計画推進
	しなのめ坂広場	475	茨城県日立波崎町	H12年度	○	○		密集事業整備計画推進
	見晴坂広場	160	茨城県日立波崎町	H10年度	○	○		密集事業整備計画推進
	不動公園	100	茨城県日立波崎町	H9年度	○	○	○	密集事業整備計画推進
10	仲宿ふれあい公園	600	東京都板橋区	H13年度	○			密集事業整備計画推進
11	千駄木児童遊園	400	東京都文京区	H7年度	○	○		密集事業整備計画推進

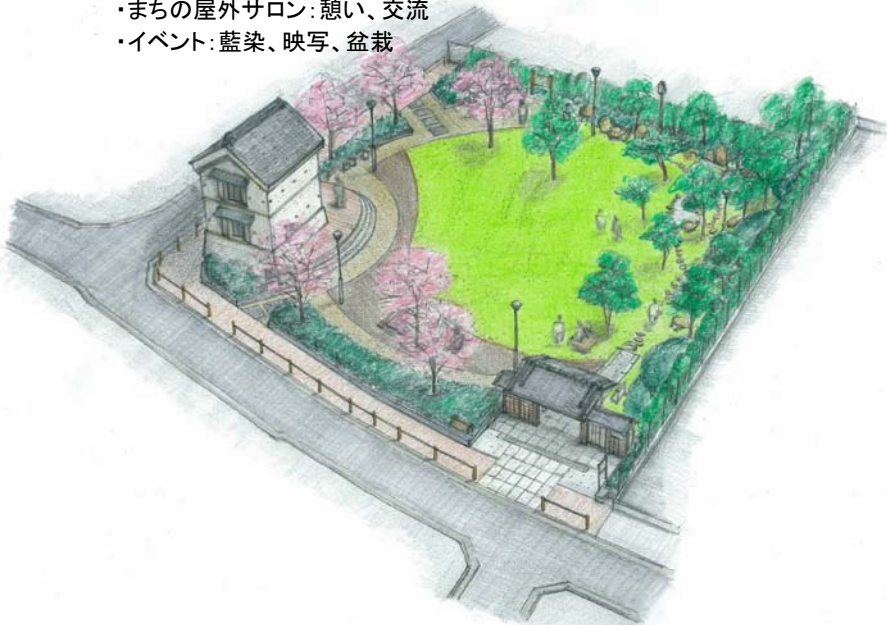
■門と蔵のある広場（東京都豊島区）

テーマ: にわ広場

- ・広がりのあるオープンスペース
- ・植木の里の表現と和のテイスト

■活動

- ・駒小第2校庭: 自由な遊び
- ・まちの屋外サロン: 憩い、交流
- ・イベント: 藍染、映写、盆栽





■波崎灯台跡公園(みはらしワンパーク) (茨城県神栖市)



- *1993 (平成5) 年4月
 - 住環境整備事業着手。防災道路・広場の整備を推進
- *2004 (平成16) 年11月
 - 波崎灯台跡地の取得及び公園づくりについて、町へ要望
- *2004 (平成16) 年11月
 - 公園づくりアンケート実施：波崎灯台跡地にて波崎東小ウォークラリーの一環として。
- *2005 (平成17) 年5月
 - 先進事例見学会
世田谷区「三宿の森緑地(防災公園)」「羽根木プレーパーク」見学。約20名参加。
- *2005 (平成17) 年7月
 - 近隣住民懇談会実施
敷地周辺住民対象の懇談会。経緯と今後の予定を説明後、意見聴取。約20名参加。
- *2005 (平成17) 年8月
 - 公園づくりアンケート実施：波崎きらっせ祭り青空市にて。

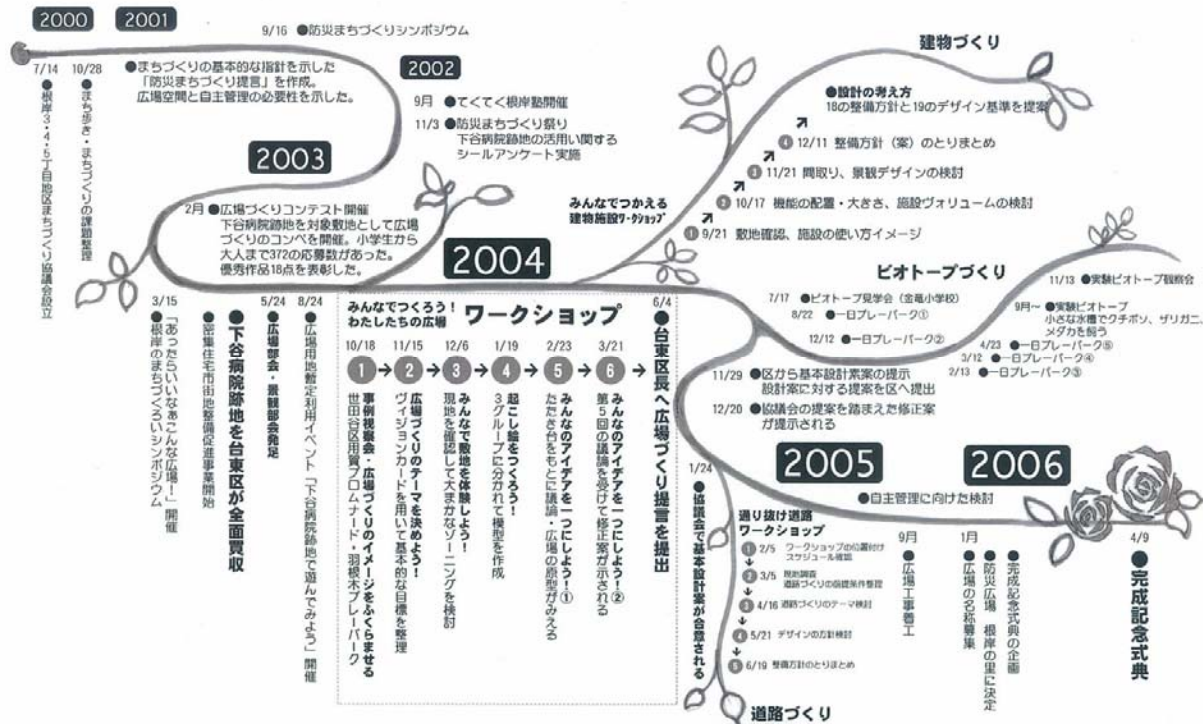
- *2005 (平成17) 年9月～2006 (平成18) 年3月
- 公園づくりの会 (まちづくり協議会主催)
- ◆第1回 (9月9日) 公園づくりのテーマを決めよう! ◆
今後の構想づくりの柱となる、「公園づくりのテーマ」を決めました。
 - ◆第2回 (10月2日) 灯台跡地を体験しよう / ソーニングを考えてみよう◆
敷地について皆で調査し、大まかな敷地の使い方 (ソーニング) を考えました。
 - ◆第3回 (11月17日) イメージを共有しよう◆
テーマやソーニングを踏まえ、模型を用いて、公園のデザインに取り組みました。
 - ◆第4回 (12月15日) たたき台を検討しよう◆
前回2つの班で考えた、2つのデザインを一つにした、たたき台を検討しました。
 - ◆第5回 (2月2日) たたき台を検討しよう◆
前回意見にもとづく、たたき台の修正を検討しました。
 - ◆第6回 (3月9日) 提言のまとめ◆
これまでの検討内容を提言書にまとめました。



波崎ポケットパークシリーズ（茨城県神栖市）



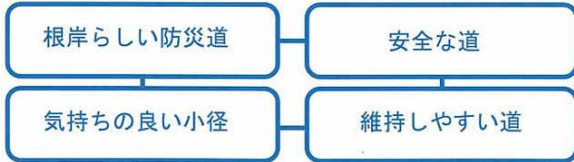
■根岸地区防災広場 根岸の里 (+通り抜け道路) (東京都台東区)



●通り抜け道路ワークショップ

平成17年2月から6月にかけて、根岸まちづくり協議会が主催するかたちでワークショップを計5回開催しました。ここでは、道路づくりの大きな「方向性」と「デザイン方針」にとりまとめました。

<みちづくりの方向性(4つの柱)>



↑ワークショップの様子

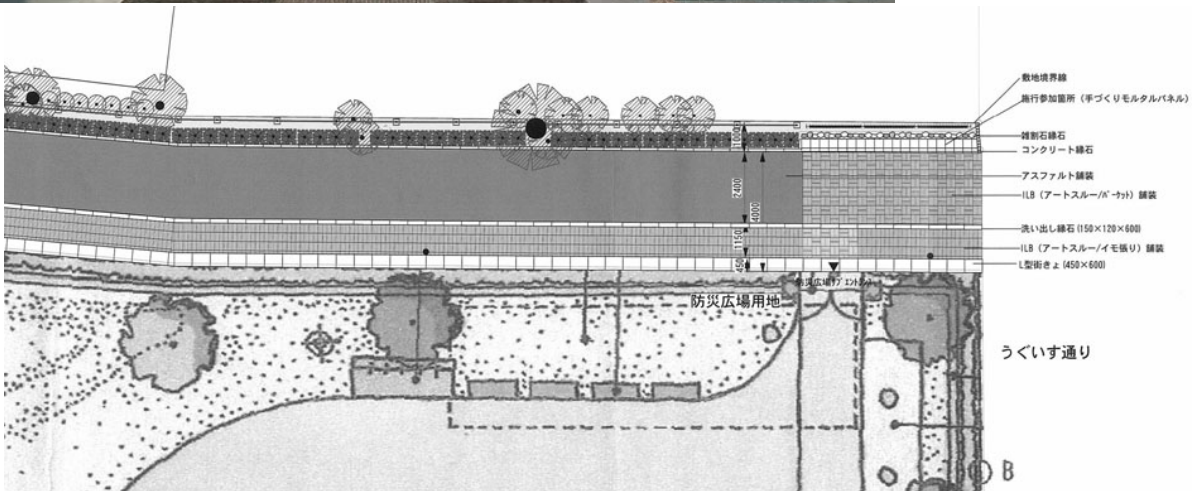
<デザインの方針>

- ブロックとアスファルト舗装を組み合わせる
→高齢者、車いす使用者、ベビーカーなどの快適性
→車両通行に支障がない舗装
- 道路の出入り口はイメージハンプ的に舗装材を替える
→歩行者優先のイメージ(みちの性格をかえる)
- 「小径」をデザインする
→連続した歩行者街路、歴史的景観を考慮
- 広場の出入り口にアクセントをつけるようなデザインとする
→広場のガゼットに面する箇所を色合いをかえる
- 材料にメリハリをつける
→主要な部分は景観に配慮したブロックとする



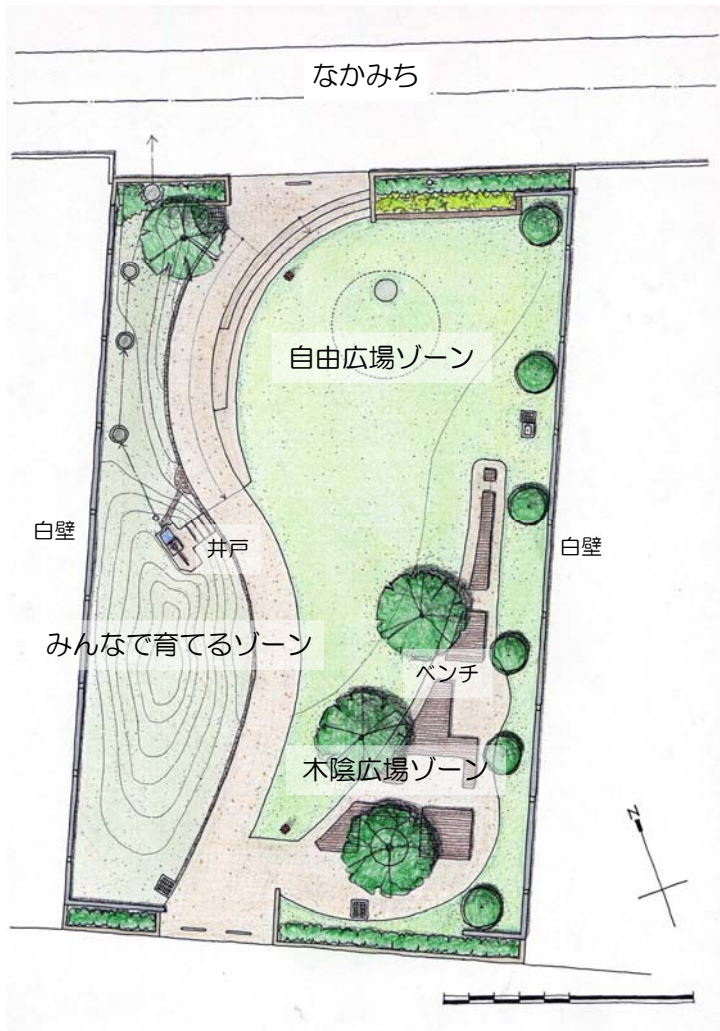
・4回のワークショップでみちづくりの方向性、デザイン方針、素材・舗装パターンを検討した。検討成果をもとに予備設計を行った。

・右側シラカシ列植部は道路区域内であり、隣地との間に設置するフェンスの位置については別途図面を作成し権利者と協議した。



■駅前公園（静岡県沼津市）

公園の最終プランは、イベントを行ったり防災訓練を行ったりすることができる『自由広場ゾーン』、木陰のベンチでゆっくりとくつろげる『木陰広場ゾーン』、地域住民が自由に活用することができる『みんなで育てるゾーン』の大きく3つのゾーンで構成されている。



公園最終プランの模型



完成後の公園